

12月16日～12月21日 商品検査実績

●微生物検査 200 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 65 検体

食品添加物検査	12 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	外部検査機関に2 検体依頼しました。検査の結果問題ありませんでした。	
簡易農薬検査	8 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
P C R 検査	畜種判別検査	6 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	GMO検査	7 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	米のDNA異種米判定	2 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	コシヒカリ品種判定	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
米鮮度判定	1 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルゲン検査	今週は実施しておりません。	
ヒスタミン検査	10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	6 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
放射性物質検査 (スペクトロメータ※)	7 検体 (米 1 検体、野菜 1 検体、果物 2 検体、水産 2 検体、冷凍食品 1 検体) 実施しました。全て検出下限値 (約 20Bq/kg) 以下となりました。	

※NaI シンチレーションスペクトロメータ：遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

品質保証室で実施している商品検査についてお知らせします

・放射性物質検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、ならコープでは、2011年8月から特定の核種（ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137）を測定できる「NaI シンチレーションスペクトロメータ」による放射性物質検査を行っています。現在では、行政の検査・監視においても基準値を超えるものは、極々一部（きのこ・山菜類（コシアブラやタケノコ等）、水産物では、川魚（イワナやヤマメ））に限られている状況ですが、ならコープで取り扱っている農産品、水産品、畜産品、加工食品など毎月40～50品の検査を行っています。

検体を細かくつぶし専用容器に入れ、NaI シンチレーションスペクトロメータで測定

